

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。**取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。**

2. 製品構成

- ・コントローラ(緑3左) 1個
- ・12ピンハーネス 1セット
- ・光センサーユニット 1個
- ・パワーリレー 1個
- ・オートライトスイッチ 1個

3. 配線方法

白12ピンコネクタ

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源+へ接続。
③ 緑	スモール出力。車両のライトスイッチ裏スモール線へ接続。
④ 紫	スモールが+コントロールの場合は、②赤線、-コントロールの場合は、①黒線へ接続。
⑤ 緑／白	ヘッドライト出力。車両のライトスイッチ裏ヘッドライト線へ接続。
⑥ 紫／白	ヘッドライトが+コントロールの場合は、②赤線、-コントロールの場合は、①黒線へ接続。
⑦ 白	接続なし。
⑧ 橙	ACCまたはIGへ接続。
⑨ 茶	付属のオンオフスイッチを接続。スイッチの片方はアースへ接続。
⑩ 灰	接続なし。
⑪ 黄	スモールスイッチ入力。車両のライトスイッチ裏スモール線を切断したスイッチ側へ接続。 (純正ライトスイッチ連動機能を使用する場合のみ接続)
⑫ 桃	接続なし。

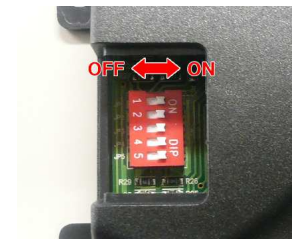
青2ピンコネクタ : 光センサーを接続

白2ピンコネクタ : 未使用

桃2ピンコネクタ : 未使用

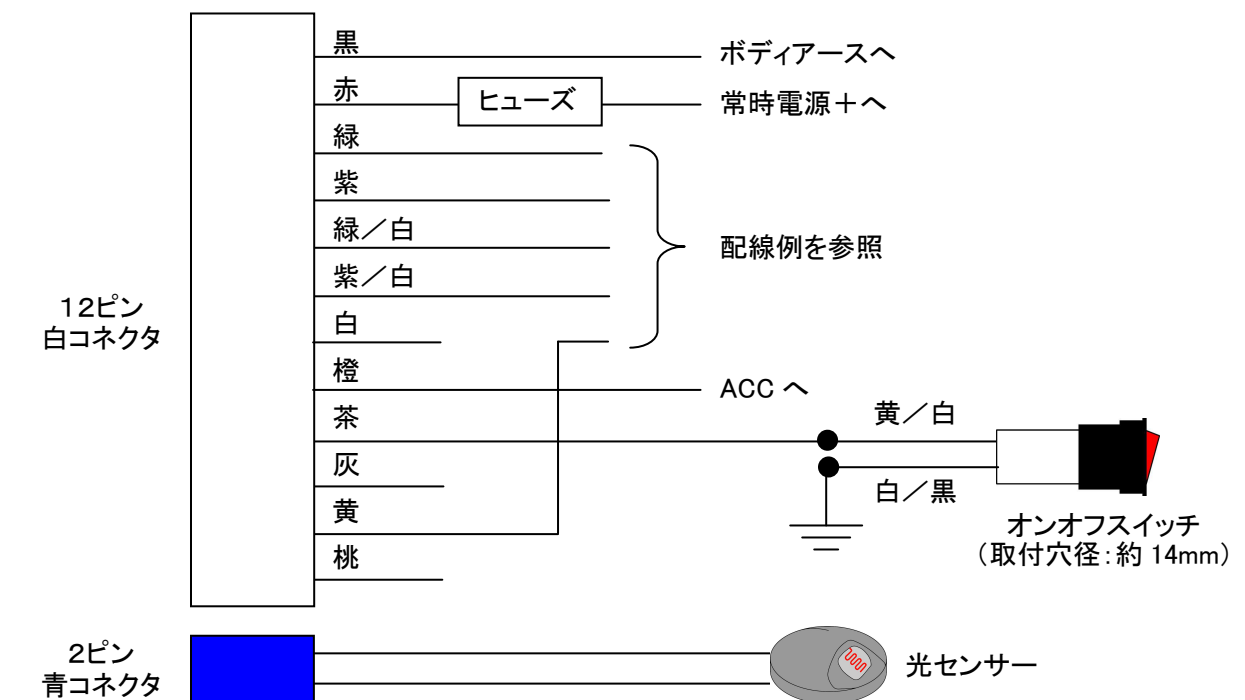
4. DIP スwitchの設定方法

コントローラの小窓を開け、中の DIP スwitchで各種設定を変更できます。
設定変更は、必ずコントローラからコネクタを抜いて行って下さい。
通常配線の場合は、設定しなくても使用できます。



DIP スwitch	設定項目	ON	OFF
3	スモール極性 (紫線の接続先)	- (アース)	+ (常時電源)
1・2・4・5	未使用		

基本結線図



■光センサーの設置方法
フロントダッシュボード上に設置し、センサー部が室内に向くようにして、外部光が直接センサーに当たらないように設置して下さい。

1. 使用方法

オートライト機能をオンにする

- ・ 純正のライトスイッチをオフにしてください。
- ・ 茶線に接続しているオートライトスイッチをオン(一)にしてください。
- ・ 暗くなると自動的にスモール → ヘッドライトが順に点灯します。明るくなるとヘッドライト → スモールが順に消灯します。

オートライト機能をオフにする

- ・ 夜間にスモールやヘッドライトを消す場合は、オートライトスイッチをオフ(○)にしてください。

ライト消し忘れ防止機能

- ・ オートライトがオンの状態で、ACC (IG) をオフにすると自動的にライトが消灯します。

純正ライトスイッチ優先機能 (⑪黄線接続時に有効)

- ・ 純正ライトスイッチをオンにすると、自動的にオートライトがオフになります。
- ・ 信号待ち等でスマールのみ点灯させたい場合に便利です。

トンネル検知機能

- ・ トンネルのように急激に暗くなった場合は、スモールとヘッドライトが同時に点灯します。

【注意】

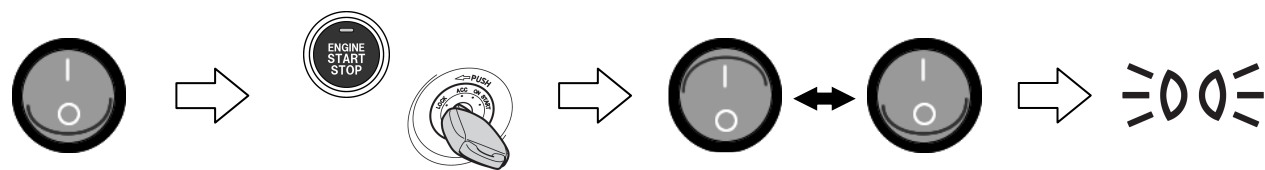
H4バルブの車両の場合、オートライト中はロービーム固定になる車両があります。ハイビームを使用する場合は、必ずオートライトスイッチをオフにし、純正のライトスイッチをヘッドの位置にし、ディマースイッチを使用して下さい。オートライトをオフにせずハイビームにすると、バルブが故障する可能性があります。

純正ライトスイッチ優先機能が有効の場合は、純正ライトスイッチをオンにすると、自動的にオートライトがオフになります。


2. 設定方法

感度(ライトが点灯する明るさ)を変更する

- ・ ACC (IG) オフ時に、オートライトスイッチをオンの状態からオフ→オン (1 回) →オフ→オン (2 回) →オフ→オン (3 回) を 3 秒以内に行って下さい。車両のスマールが点滅し、設定が変更されます。
- ・ 設定が次の設定に変更され、スマールが点滅した回数でどの設定に変更されたかが分かります。
- ・ 設定は、「やや明るい」→「やや暗い」→「暗い」→「明るい」→…の順に切り替わります。



- ①オートライトスイッチをオンにする。
- ②車両の電源をオフにする。
- ③オートライトスイッチのオフ→オンを素早く3回繰り返す。
- ④スモールが点滅し、点滅回数でどの明るさに変更されたかが分かります。

スモール点減回数	1回	2回	3回	4回
点灯する明るさ	明るい	やや明るい (初期設定)	やや暗い	暗い
感度	良い			鈍い

配線検査方法

配線検査は、初期設定のまま確認して下さい。

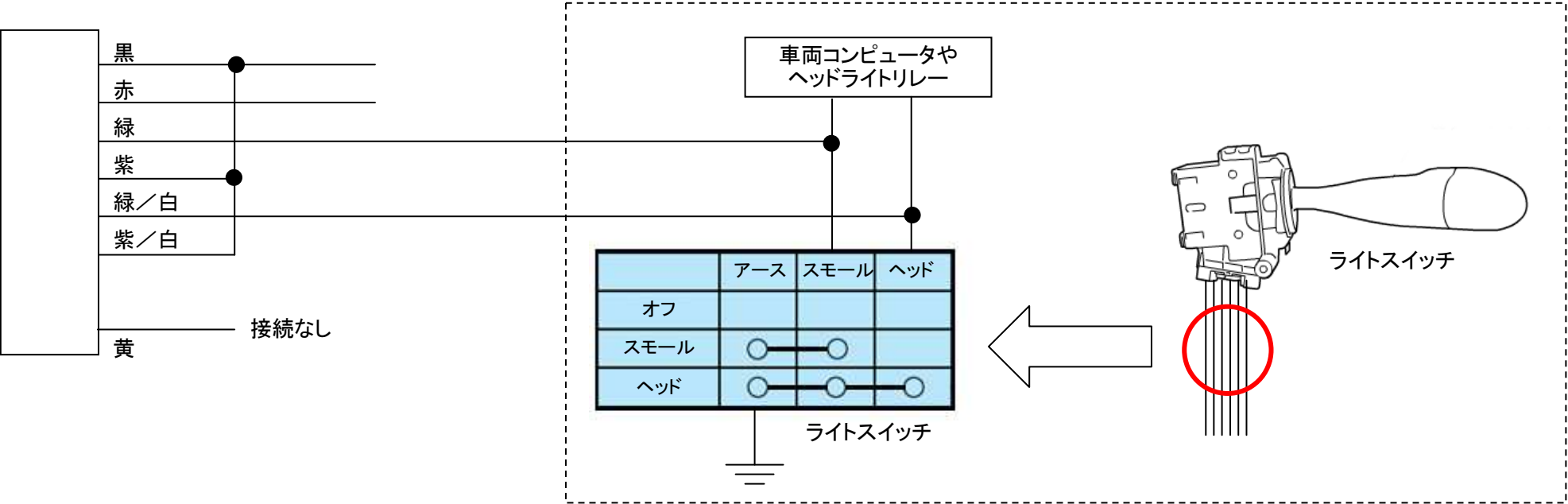
手動でセンサーを覆って検査を行う場合、トンネル検知機能によりスモールとヘッドライトが同時に点灯することがあります。

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	スモールが一瞬点灯し、その後ヘッドライトが一瞬点灯する。→ 2へ。	リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	ACC (IG) をオンにし、光センサーを徐々に手で覆う。	スモールとヘッドライトが点灯する。 【通常配線】→ 4へ。 【純正ライトスイッチ優先配線】→ 3へ。	全く反応しない。	⑧橙線、⑨茶線、スイッチのアースの結線不良。
			スモールが点灯しない。	③緑線、④紫線の結線不良。
			ヘッドライトが点灯しない。	⑤緑／白線、⑥紫／白線の結線不良。
			明るい状態でもスモールとヘッドが点きっぱなしになる。	光センサーが接続されていません。
3	センサーを覆った状態で、純正ライトスイッチでスモールをオンにする。	ヘッドライトが消灯し、スモールのみが点灯する。 → 4へ。	ヘッドライトが点灯したまま消灯しない。	⑪黄線の結線不良。 DIP スwitch 3の設定が違う。
			明るい状態でもスモールが点きっぱなしになる。	車両のスモール線が切断されていません。
4	オートライトを使用する。		スモールやヘッドライトが点灯するタイミングが遅い(早い)。	オートライトの感度の設定を行ってください。

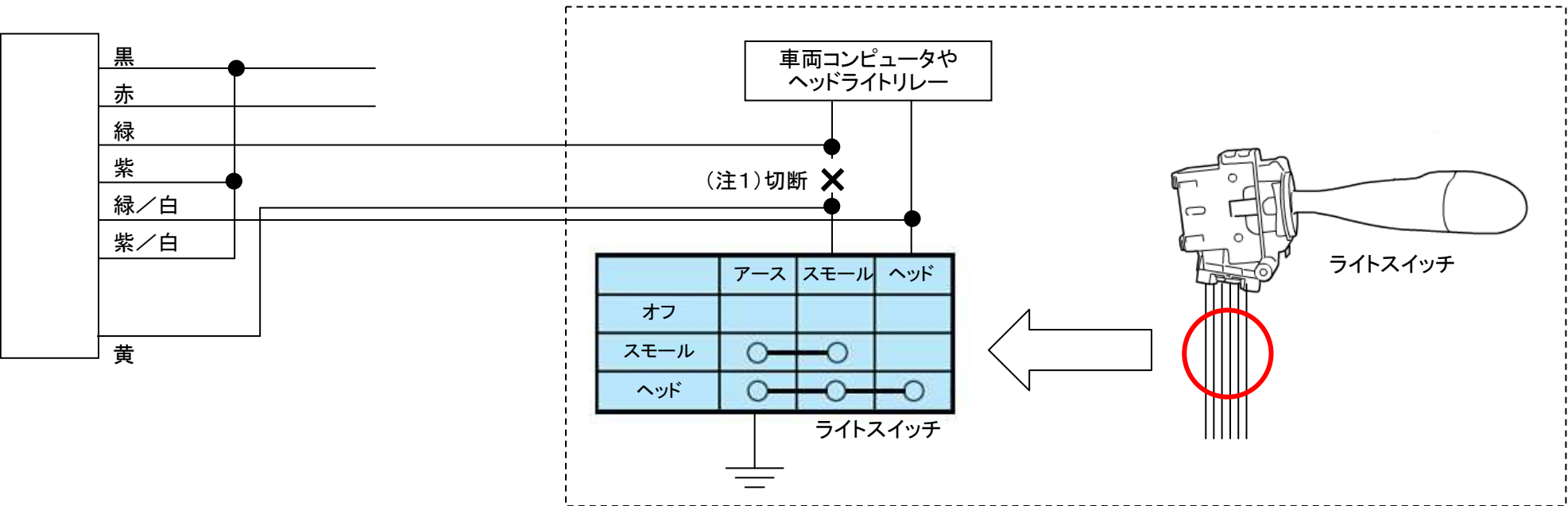
配線例1 【 パワーリレー不要・スモール(－)・ヘッドライト(－) 】

- 車両にヘッドライトリレーが付いている車両の配線方法です。
- 配線例の紫線はスモールが－コントロール(スモールを点けた時にアースとつながる)の場合です。＋コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。
- 配線例の紫／白線はヘッドライトが－コントロール(ヘッドライトを点けた時にアースとつながる)の場合です。＋コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。

【通常配線】



【純正ライトスイッチ優先配線】



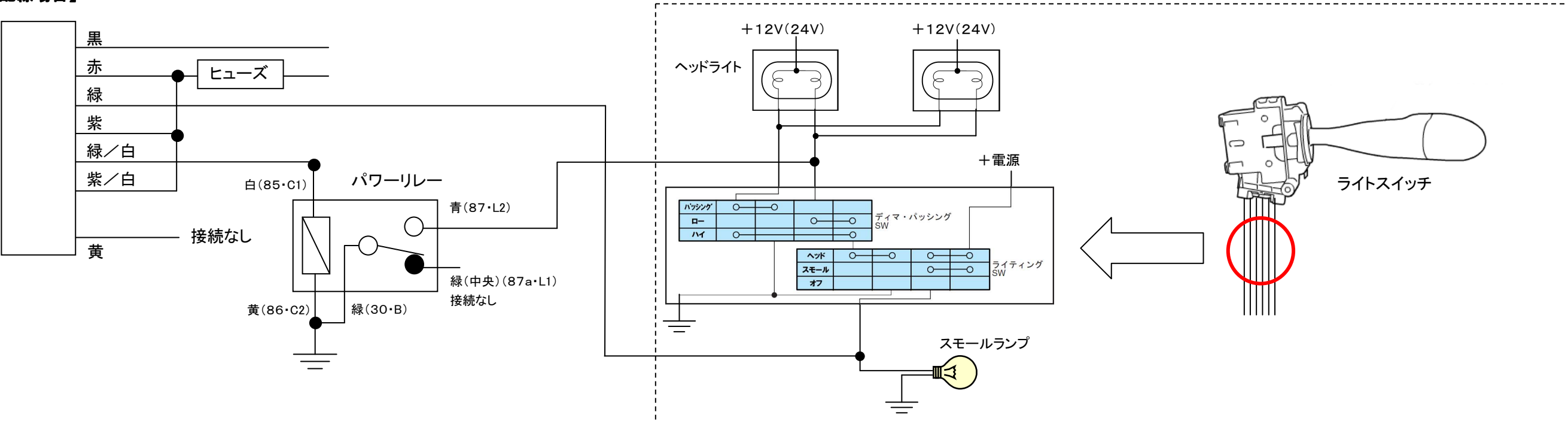
・DIP スイッチ3をスモールの極性に応じて変更して下さい。この例の場合は－なので、ON にして下さい。

(注1) 向きに注意！！
ライトスイッチ側に黄線、その反対側に緑線を接続。

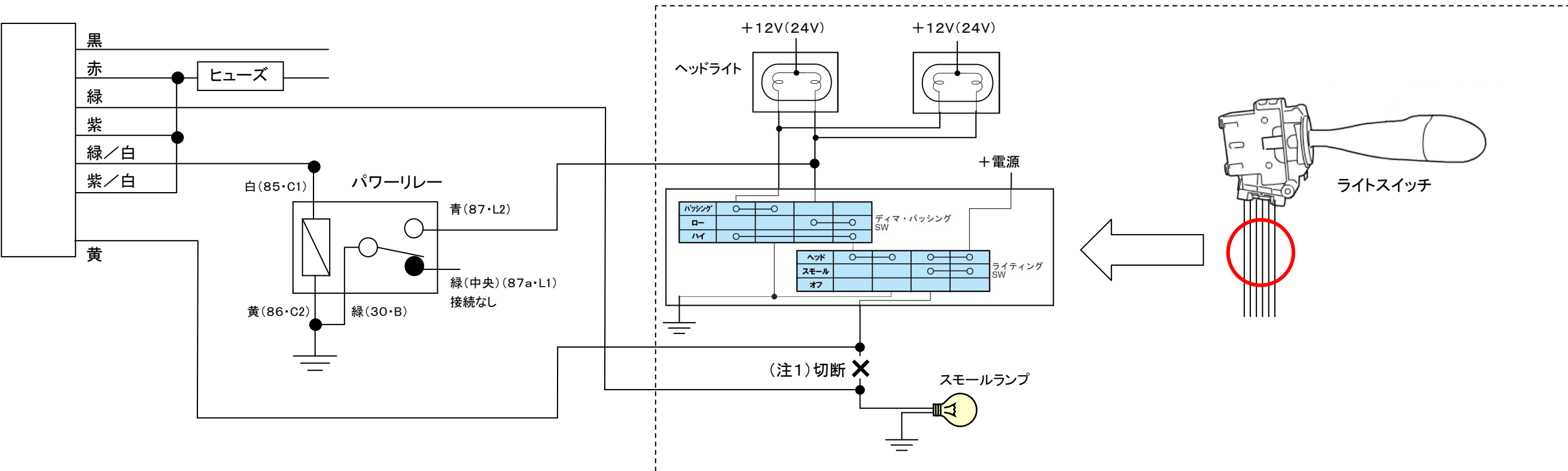
配線例 2 【 パワーリレー必要・スモール(+）・ヘッドライト(-) 】

- 車両にヘッドライトリレーが付いていない(ライトスイッチとバルブが直接つながっている)車両の配線方法です。
- 配線例の紫線はスモールが+コントロール(スモールを点けた時に+電源とつながる)の場合です。-コントロールの場合はアースへ接続して下さい。
- 配線例のパワーリレーの緑線(30・B)は-コントロール(ヘッドライトを点けた時にアースとつながる)の場合です。+コントロールの場合は常時電源へ接続して下さい。

【通常配線場合】



【純正ライトスイッチ優先配線】



・DIP スイッチ3をスモールの極性に応じて変更して下さい。この例の場合は+なので、OFF にして下さい。

(注1) 向きに注意！！
ライトスイッチ側に黄線、その反対側に緑線を接続。